

Japan Art History Society  
第76回 The 76th General Assembly 2023

# 美術史学会全国大会

---

九州大学 伊都キャンパス (オンライン同時配信あり)

2023年5月26日(金)・27日(土)・28日(日)

# 当番校からのお知らせとお願い

## 1. 開催方式(ハイフレックス方式)について

第76回大会は、九州大学伊都キャンパスを会場として対面で開催します。全日程をオンラインでも配信します。オンラインで参加される会員のみならずには、チャットなどを使ったテキスト方式で質疑応答に加わっていただきます。新しい形式での開催のため、参加方法などこれまでにない手続きがございますが、ご理解とご協力をお願いします。なお、新型コロナウイルス感染症の状況の急変などによって、プログラムが変更される可能性もあります。最新の情報は大会ホームページをご覧ください。

## 2. 参加申込・参加費の支払い

5月9日(火)締め切り

参加申し込みおよび参加費の支払いは、大会ホームページから行ってください。大会の円滑な運営のために、対面参加の場合も事前の申し込みをお願いします。懇親会、お弁当、総会委任状の手続きも同時に行うことができます。

参加申し込みの際に、オンライン決済システムPayventを利用して参加費などの費用をお支払いいただきます。ゆうちょ払込票を使った従来の方法ではありません。参加費の支払いをもって、参加申し込みの完了とさせていただきます。オンラインでの申し込み・支払いが難しい場合は、大会実行委員会までご連絡ください。

お支払い方法は、クレジットカード、銀行振り込みをご選択いただけます。銀行振り込みの場合、登録に反映されるまで数日かかる場合がございます。期日まで余裕をもったお支払いをお願いします。

<https://jahs76kyushu.studio.site>

QRコード



|           |           |
|-----------|-----------|
| 大会参加費(事前) | 2,000円    |
| 懇親会費(事前)  | 6,000円    |
| お弁当の注文    | 1,000円/1個 |

※対面で参加の場合は、Payventから送られる登録確認のメールを印刷してご持参いただくか、スマートフォン上で表示できるようにしてください。

## 3. 総会委任状 5月22日(月)締め切り

総会は全学会員の5分の1の出席によって成立します。総会を欠席する会員は、美術史学会規約第6条に則り、委任状により参加できます。委任状の提出も、大会ホームページから行えます。全国大会に参加できない場合も、委任状の提出を忘れずをお願いします。オンラインでの委任状提出が難しい場合は、大会実行委員会までご連絡ください。

## 4. オンラインでの配信と参加方法

オンラインでの配信には、Zoomウェビナーを利用する予定です。事前申し込み・参加費の支払いを行った会員には、開催の数日前にウェビナー情報をメールでお知らせします。本大会では、オンラインのみの参加も有料となります。前日になってもウェビナー情報が届かない場合は、大会実行委員会までお問い合わせください。

## 5. 参加申込の締め切り日(5/9)以降の扱い

対面で参加の場合、3,000円の参加費にて当日現地でも受付を行います。ただし、懇親会の参加やお弁当の注文はできない場合もあります。それ以外のケースについては、5月9日以降にホームページ上でご案内をする予定ですが、大会運営上ご希望に添った対応ができないこともあります。重ねて、締め切り日までの参加申し込みをお願い申し上げます。

## 6. 出張依頼状 4月21日(金)締め切り(必着)

所属機関長への出張依頼状が必要な場合は、機関名・所在地・機関長名を明記の上、美術史学会本部事務局へお申し込み下さい。  
(※大会実行委員会ではありません)

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内27-1  
東北大学文学研究科美学・西洋美術史研究室 気付  
美術史学会本部事務局  
Email gakkai-east@gmail.com

## 7. 宿泊

大会実行委員会では宿泊の斡旋は行っておりません。各自でご手配ください。会場となる伊都キャンパスは、福岡市内の中心部から公共交通機関で1時間ほどかかり、キャンパス近隣にはホテルはわずかしかありません。早めの宿泊予約をお勧めします。アクセスや宿泊場所に関する情報は、全国大会ホームページでもご覧いただけます。

## 8. 昼食

26日(金)はキャンパス内の生協食堂などが利用できます。27日(土)、28日(日)は、学内の飲食店の多くが閉店しています。会場は都市部から離れており、キャンパス外にはコンビニや飲食店はありません。土曜・日曜のみ、お弁当を用意します。ご希望の方は、事前参加申し込みの際にご注文ください。

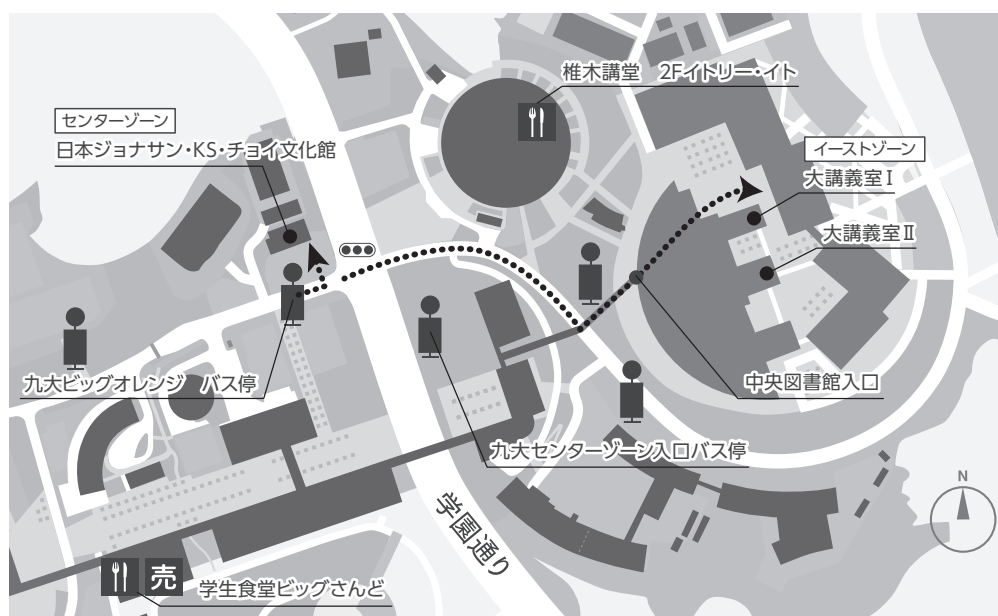
## 会場アクセス 九州大学伊都キャンパス

**福岡空港・博多駅から** 福岡空港駅あるいは博多駅から地下鉄空港線で「姪浜」駅へ、同じホームでJR筑肥線へ乗り換えて「九大学研都市」駅まで行きます(所要時間40/30分)。乗り換えなしの直通電車も運行されています(「筑前前原行き」など)。

駅前のバス停から、九州大学行きの昭和バスにご乗車ください。「ウエストゾーン(理系)」行きのバスに乗り、「九大ビッグオレンジ」で下車してください(所要時間15分)。「イーストゾーン(文系)」行きのバスに乗りした場合、「九大中央図書館」で下車してください。

土曜・日曜は、伊都キャンパスへのバスの本数が少なくなっています。お急ぎの場合、九大学研都市駅からタクシーの利用(約2,000円)もご検討ください。

**天神(市内中心部)から** 「天神ソラリアステージ前」あるいは「天神北」バス停から「九大総合グラウンド」行きの西鉄バスに乗り、「九大ビッグオレンジ」で下車します(所要時間45分)。



●26日(金) 総会、『美術史』論文賞表彰式、シンポジウム 受付: センターゾーン 日本ジョナサン・KS・チョイ文化館  
「九大ビッグオレンジ」バス停から道路を挟んで向かいの建物が会場です。

●27日(土)・28日(日) 研究発表 受付: イーストゾーン 大講義室I  
「九大ビッグオレンジ」バス停からバスが来た道を引き返し、大通り(学園通り)を横断して中央図書館入口まで移動してください(約5分)。エスカレーターで最上階(屋外)まで上がると、右側に大講義室I・IIがあります。  
お帰りの際は、「九大センターゾーン入口」バス停が便利です(昭和バス・西鉄バス共通)。  
最寄りのバス停は、「九大中央図書館」ですが、土・日の運行本数が大変少なく、お勧めしません。

九大学研都市駅と伊都キャンパスの間で、一部時間帯に専用バスを運行することを検討しております。会場へのアクセスについては、4月以降大会ホームページ上にて順次ご案内を追加します。

大会は新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で開催します。対面で参加される皆さまは、体調にお気を付けてお越しください。発熱などの症状がある場合は、ご来場をお控えいただき、オンラインでの参加に切り替えていただきますようお願いいたします(事前に申し込みした会員全員にウェビナー情報をお知らせします)。

### 第76回美術史学会全国大会実行委員会

〒819-0395 福岡市西区元岡744 九州大学大学院 人文科学研究院 芸術学講座内

Email [jahs76kyushu@gmail.com](mailto:jahs76kyushu@gmail.com)

FAX 092-802-6390 (「人文科学研究院 芸術学講座内美術史学会全国大会」  
実行委員会 宛)とご明記ください)

URL <https://jahs76kyushu.studio.site>

QRコード



大会参加申し込み、総会委任状の提出は、ホームページから行ってください。オンラインでの申し込み・支払いなどが難しい場合は、郵便物送付先を明記した上で大会実行委員会までご連絡ください。

5/26(金)【初日プログラム】 総会・『美術史』論文賞表彰式・シンポジウム

受付 9:00～ 伊都キャンパス・センターゾーン 日本ジョナサン・KS・チョイ文化館

| 会 場         | 日本ジョナサン・KS・チョイ文化館                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |  |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 10:00-12:00 | 総会、『美術史』論文賞表彰式                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |  |
|             | 昼休み                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |  |
| 13:30-17:40 | <div>当番校企画</div> <div>シンポジウム「偶然・必然・自然 ―形象の生成と認識をめぐって―」</div> <div>※会場の定員が限られています。定員を超過した場合、別会場にてライブ配信形式でご視聴いただくことがあります。</div> <div>1. 基調報告</div> <div>中唐における水墨山水画成立の意義と現代美術</div> <div>井手誠之輔 (九州大学)</div> <div>2. 報告</div> <div>浸食と決壊</div> <div>―中世イタリア絵画における流動体としての大理石イメージ―</div> <div>松原知生 (西南学院大学)</div> <div>日本の物質文化におけるチャンス・イメージと「景色」の概念</div> <div>―西洋理論の視点から―</div> <div>アントン・シュヴァイツァー (九州大学)</div> <div>偶然の戦略</div> <div>―ジャン・アルプ、エルズワース・ケリー、ロバート・ラウシェンバーグ、</div> <div>ゲルハルト・リヒターの事例をめぐって―</div> <div>河本真理 (日本女子大学)</div> <div>“アクション・ペインティング”再考</div> <div>―「具体」・アンフォルメル・抽象表現主義―</div> <div>平井章一 (関西大学)</div> <div>3. 総合討議</div> <div>司会：石井祐子 (九州大学)</div> <div>井手誠之輔</div> |  |

# 5/27(土)【2日目プログラム】 研究発表・懇親会

受付 9:00～ 伊都キャンパス・イーストゾーン 大講義室Ⅰ

| 会 場                                     | 【分科会Ⅰ】イーストゾーン大講義室Ⅰ                                                               | 【分科会Ⅱ】イーストゾーン大講義室Ⅱ                                                     |
|-----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 10:00-10:40                             |                                                                                  | <b>北宋前期開封における巨然と南唐・呉越の遺臣たち</b><br>前田佳那(九州大学)                           |
| 10:40-11:20                             | <b>日展の再編とGHQ/SCAP ―第4回展(1948年)開催と日展の存続問題をめぐって―</b><br>川村笑子(筑波大学)                 | <b>清時代の倣古の一様相 ―査士標「倣黄公望富春山居図巻」(東京国立博物館蔵)について―</b><br>都甲さやか(大和文華館)      |
| 11:20-12:00                             | <b>ソフィ・カル《眠る人々》における写真とテキストの考察</b><br>松田愛(富山大学)                                   | <b>被帽地蔵の図像成立に関する一考察 ―西域起源説の再検討―</b><br>大澤信(九州国立博物館)                    |
| 昼休み ※事前申込者へお弁当の受け渡しがございます(詳細は当日お知らせします) |                                                                                  |                                                                        |
| 13:10-13:50                             | <b>鳥居清長の空間構成 ―鈴木春信と歌川豊春の影響を中心に―</b><br>宮崎黎(慶應義塾大学)                               | <b>東アジアの古墳副葬品と玉虫厨子にみる玉虫装飾の再検討 ―王権と仏舎利供養の視点から―</b><br>王映雪(ハーバード大学/大阪大学) |
| 13:50-14:30                             | <b>英泉、広重画「木曾海道六拾九次」の摺刷技法と表現意図について</b><br>常包美穂(中山道広重美術館)                          | <b>東大寺献物帳の書体選択とその時代背景 ―「国家珍宝帳」を中心として―</b><br>川上貴子(筑紫女学園大学)             |
| 14:30-15:10                             | <b>芳年・年方の活動に見る明治期浮世絵師の開拓</b><br>出口眞結(学習院大学)                                      | <b>国学者と美術家 ―黒川真頼と小杉楹邨の「日本美術史」構築作業―</b><br>佐藤岳流(京都大学)                   |
| 休 憩                                     |                                                                                  |                                                                        |
| 15:30-16:10                             | <b>「マイスター・フランケ」作《聖トマス祭壇画》後ろ姿のキリスト復活像に関する考察</b><br>奥村あゆ(京都大学)                     | <b>大分・天福寺奥院木彫群と九州の古代彫刻 ―悉皆調査からの展望―</b><br>末吉武史(福岡市博物館)                 |
| 16:10-16:50                             | <b>十字架と聖母の聖心 ―「フレマールの画家」周辺で制作された《受難の道具をもつ三天使がいる十字架のキリスト》をめぐって―</b><br>蜷川順子(関西大学) | <b>大分・大山寺普賢延命菩薩像の造像背景 ―「国司随身の僧」としての谷阿闍梨皇慶をめぐって―</b><br>森瑞穂(九州大学)       |
| 16:50-17:30                             | <b>ヒエロニムス・ボス《東方三博士の礼拝三連画》「聖グレゴリウスのミサ」とエルサレム礼拝堂</b><br>杉山美耶子(名古屋大学)               | <b>建久再興東大寺大仏殿四天王立像の像容と役割をめぐる一考察 ―多聞天像の開口表現に着目して―</b><br>富岡采花(京都大学)     |
| 17:45-19:45                             | 懇親会 伊都キャンパス ITRI ITO イトリー・イト(椎木講堂2F)                                             |                                                                        |

5/28(日)【3日目プログラム】 研究発表

受付 9:00～ 伊都キャンパス・イーストゾーン 大講義室Ⅰ

| 会 場         | 【分科会Ⅰ】イーストゾーン大講義室Ⅰ                                                                  | 【分科会Ⅱ】イーストゾーン大講義室Ⅱ                                                         |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 10:00-10:40 | 王立建造物局総監マリニー侯爵とゴブラン製作所の連作〈神々の愛〉について<br>小林亜起子 (東京藝術大学)                               | 「仏鬼軍絵巻」の成立環境<br>—十念寺本を中心に—<br>大澤茉歩 (早稲田大学)                                 |
| 10:40-11:20 | マリー・ローランサン作《アポリネールの娘》をめぐる<br>由良茉委 (早稲田大学)                                           | 中之島香雪美術館所蔵「稚児観音縁起」の主題について<br>—極楽往生と十一面観音信仰の関係に着目して—<br>小池寧々 (須坂市役所文化スポーツ課) |
| 11:20-12:00 | アッシー教会における「聖なる芸術(アール・サクレ)」論争 —ジェルメーヌ・リシエ作《十字架上のキリスト》の撤去をめぐるスキャンダル—<br>宮川由衣 (西南学院大学) | 神宮徴古館農業館蔵「唐人物図貝桶」の研究<br>—下賜の経緯について—<br>菊地かの子 (ふくやま芸術文化財団)                  |
|             | 昼休み ※事前申込者へお弁当の受け渡しがございます(詳細は当日お知らせします)                                             |                                                                            |
| 13:10-13:50 | 深江芦舟の画風変遷と活動拠点に関する一試論<br>鈴木えみこ (郡山市立美術館)                                            | 伽藍神・張大帝の像容の比定について<br>—南宋『鬼董』の記述を通して—<br>工藤裕司 (同志社大学)                       |
| 13:50-14:30 | 建部巢兆のやまと絵系作品について<br>—《花山天皇出家図》を中心に—<br>加藤ゆずか (早稲田大学)                                | 奈良・與喜天満神社天神坐像の忿怒表現について<br>川北奈美 (京都大学)                                      |
| 14:30-15:10 |                                                                                     | 習合尊としての荒神の成立<br>—東京・金剛院蔵 忿怒金剛図を中心に—<br>上村駿介 (青山学院大学)                       |